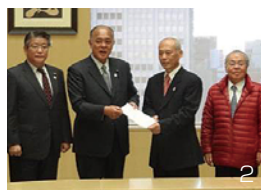


空手道の2020年オリンピック正式種目化を推進する会 「アジェンダ 2020」 受け会見



2020年東京オリンピック・パラリンピックでの空手道の正式種目化実現を目標に、空手道関係者によって組織した会です。国内外を問わず広く一般社会に向けて、空手道の魅力、ニュース、インフォメーションを発信するとともに、空手道関係者へのフィードバックを通してオリンピックへの意識を高めることを目的とします。

写真 上段／アジェンダ 2020 発表を受けた全空連の記者会見より。**下段**／要請活動の様子。下村文科相（1）、舛添都知事（2）、組織委員会の森委員長（3）、JOCの竹田会長（4）に決議文を手渡した。

Latest News

アジェンダ 2020 可決 開催地に種目提案権

12月8日（月）のIOC臨時総会で「アジェンダ 2020」が可決され、オリンピック・パラリンピック東京大会での種目追加と、開催都市による追加種目提案権が認められました。これを受けて全日本空手道連盟では、9日（火）に記者会見を実施。約30社のメディアが取材に訪れました。

会見では、世界空手連盟の奈藏稔久事務総長より、空手道のオリンピック種目としての適合性と魅力を解説しました。ミニマム2日間・最低2種目の開催といったコンパクト化が可能であること、日本武道館で実施するため追加投資の必要がないこと、男女同数で参加できること、パラリンピック種目としても可能性があることなど、空手道が国・性別・宗教をこえて成熟し

たスポーツであること、世界空手連盟・全日本空手道連盟が運営に対して柔軟な対応を取れる姿勢であることを強調しました。

都議会、精力的な「要請活動」

東京都議会自民党空手道推進政策研究会では、11月28日（金）に都議会本会議で「2020年東京大会における野球・ソフトボールと空手道の競技実施を求める議案」が可決されたこと受け、高島直樹会長（都議会議長）が関係各所を訪問、下村博文文科相、舛添要一都知事、組織委員会の森喜朗委員長、JOCの竹田恆和会長らに決議文を手渡し、空手道の採用を強く訴えました。